

スーパーカミオカンデ

■ 用語解説 ■

巨大ミューニュートリノ検出装置は、山地下 1,000 m に造られた直径 40 m、高さ 40 m、5 万トンの水のタンクと壁面に光電子増倍管 11,200 個を持つ、宇宙から飛んでくる素粒子のひとつである「ニュートリノ」を観測する施設（東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設）。1991 年から 5 年間の建設期間を経たあと、1996 年 4 月より観測を開始。